

授業科目	キリスト教と文化				単位	1		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	TO10104J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP4-1			
担当教員	東 彩子							
授業概要	キリスト教文化を学ぶとは、キリスト教の歴史や思想(文学作品を含む)、芸術(音楽・美術・建築)など、幅広い文化の広がりを学ぶことを通して、自らの視野を広げていく営みであります。 本授業では、キリスト教の歴史と文化について概観した後、キリスト教の精神が流れる芸術作品を鑑賞したり、賛美歌や文学作品を味わったりすることによって、キリスト教文化の広がりを目をむけます。							
学生が達成すべき行動目標	1:キリスト教の歴史に触れ、キリスト教文化の土台を知ることができる。 2:キリスト教芸術作品や賛美歌の鑑賞を通し、キリスト教文化の具体性に触れることができる。 3. チャペルやクリスマス礼拝参加を通し、現代のキリスト教文化を体験することができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	30	0	70	0	100	
知識・理解 (DP1-1)		0	0	0	70		70	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)			30		0		30	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
キリスト教の歴史を知り、芸術・文学作品や賛美歌の鑑賞を通して、キリスト教文化の広がりに関心を持ち、自らテーマを絞り調査することができる。また、チャペルやクリスマス礼拝、その他のキリスト教行事の積極的な参加を通し、キリスト教文化の実際を体験し、「感恩奉仕」の精神を養うことができる。				キリスト教の歴史を知り、芸術作品や賛美歌の鑑賞を通して、キリスト教文化の広がりに関心を持ち、自らテーマを絞り調査することができる。また、チャペルやクリスマス礼拝の参加を通し、キリスト教文化の実際に触れることができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)

1	テーマ:キリスト教と文化①歴史 西欧文化の礎となったキリスト教の歴史概観	遠隔授業	復習:講義内容を踏まえ、関連する聖書の箇所や参考文献を読み、ノートに記録しておく。	60
2	テーマ:キリスト教と文化②美術 聖書を題材とするキリスト教美術の作品紹介	遠隔授業	同上	60
3	テーマ:キリスト教と文化③音楽1 宗教改革以前の教会音楽	遠隔授業	同上	60
4	テーマ:キリスト教と文化④音楽2 宗教改革以後の教会音楽	遠隔授業	同上	60
5	テーマ:キリスト教と文化⑤文学1 C.S ルイスとナルニア国物語	遠隔授業	同上	60
6	テーマ:キリスト教と文化⑥文学2 ナルニア国物語『ライオンと魔女』	遠隔授業	同上	60
7	テーマ:キリスト教と文化⑦文学3 ナルニア国物語『ライオンと魔女』 <全体のまとめ>	遠隔授業	同上	60
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				

24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	キリスト教学、チャペル、教会訪問などのキリスト教の学びをもとに展開していきます。			
テキスト	新共同訳聖書(日本聖書協会)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	石黒マリーローズ「キリスト教文化の常識」講談社現代新書(1994) C.S.ルイス「ライオンと魔女」岩波書店(2000)			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	授業で取り上げる作品以外にも、キリスト教が背景に流れる芸術作品や文学作品を随時紹介いたします。積極的にそれらに親しみ、自らの視野を広げて行ってください。			
達成度評価に関するコメント	クラスポートフォリオ 70%、チャペルレポート 20%、レポート 10% その他、学習態度や課題の提出状況などで加点・減点を行う。			

